

第59回試験研究成果発表会（野菜Ⅰ）発表概要

【動画配信期間】 令和4年2月21日（月）～3月18日（金）

【場 所】 YouTube「千葉県公式セミナーチャンネル」

発表1 成果発表

11月どりキャベツの優良品種の選定（第68回千葉県野菜品種審査会）

水稻・畑地園芸研究所 東総野菜研究室 大川 佳織

第68回千葉県野菜品種審査会において春系キャベツの優良品種の選定を行いました。11月中旬に安定して収穫ができ、収量性に優れた入賞5品種の特徴について発表します。また台風対策として実施したべたがけの様子を紹介します。



1位入賞の「初恋」



審査風景

発表2 成果発表

秋冬ネギの黒腐菌核病対策 Part 1 ～殺菌剤の防除効果～

病理昆虫研究室 中田 菜々子

秋冬ネギにおいて問題となるネギ黒腐菌核病は、土の中に残った病原菌が引き起こす病気ですが、土壌消毒だけでは被害を防ぎきれないケースが多くあります。そこで、育苗期や生育期に処理する殺菌剤の防除効果を調査しました。試験の結果明らかになった各種殺菌剤の効果や処理適期についてご紹介します。



ネギ黒腐菌核病発病株



黒腐菌核病が多発した畑

発表3 成果発表

秋冬ネギの黒腐菌核病対策 Part 2 ～感染時期と防除適期の判断～

水稲・畑地園芸研究所 東総野菜研究室 大川 佳織

秋冬ネギのネギ黒腐菌核病菌の初期感染時期を PCR 法で調べたところ、茎盤部付近の日平均地温（以下地温）が 15℃ 程度に下がる 10 月下旬～11 月下旬であることがわかりました。そのため、薬剤散布適期はネギ黒腐菌核病菌が感染する前の、地温が 20℃ に下がり始める 9～10 月頃であると考えられました。薬剤散布の適期を天気予報等から得られる日最高気温と日最低気温から推定する方法についても紹介します。



薬剤散布適期推定のイメージ



罹病株の様子（左罹病株、右健全株）

発表4 成果発表

秋冬ネギの黒腐菌核病対策 Part 3 ～土壌くん蒸時のフィルム被覆でしっかり防除！～

土壌環境研究室 岩佐 博邦

ネギ黒腐菌核病の防除方法の一つとして、土壌くん蒸が上げられます。土壌くん蒸を行う際に、地表面をフィルムで被覆することにより防除効果が向上することや、ガスバリア性フィルムを用いることで大気中の薬剤濃度を低減できることを紹介します。



大気中の薬剤濃度を調査中！

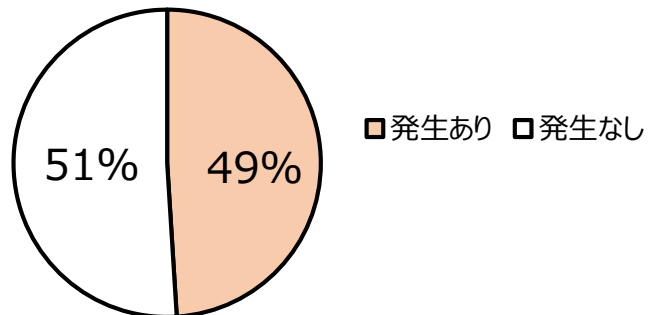
発表5 成果発表

秋冬ネギの黒腐菌核病対策 Part 4 ～防除に向けた現地調査と対策選択支援チャート図の作成～

土壌環境研究室 岩佐 博邦

「秋冬ネギの黒腐菌核病対策 Part 1 ～ 3」の研究成果と本病の発生や防除に関する現地調査の結果を基に「対策選択支援チャート図」を作成しました。発生履歴、育苗方法、収穫時期などに応じて対策を選択でき、それぞれの対策のポイントも分かります。

問 2017 年度の秋冬作でネギ黒腐菌核病が発生した圃場がありますか？



ネギ黒腐菌核病に関する現地調査結果の一例

発表6 成果発表

ハウレンソウ冬どりトンネル栽培の優良品種（第68回千葉県野菜品種審査会）

野菜研究室 町田 剛史

第68回千葉県野菜品種審査会において、ハウレンソウ冬どりトンネル栽培の優良品種の選定を行いました。選定された優良品種は、「雷電13」、「バートン」、「フォルテシモV」、「グリーンアップ」等の7品種です。



1位の「雷電13」



立毛審査

発表7 成果発表

5月どりダイコンべたがけ栽培の優良品種の選定（第71回全日本野菜品種審査会）

水稲・畑地園芸研究所 東総野菜研究室 千吉良 敦史

第71回全日本野菜品種審査会において、べたがけ栽培による5月どりダイコンの優良品種の選定を行いました。優良品種は、「MKS-R725」（商品名「豊誉」）、「C8-658」、「C0-667」、「春かなで」、「W1535」、「TDA-777」及び「春宴」の7品種です。5月どりのべたがけ栽培で、収量性に優れた各品種の特徴を紹介します。



1等特の「豊誉」



収穫物審査風景

発表8 情報提供

秋まき冬どりダイコンの根重予測モデルの開発

最重点プロジェクト研究室 小林 孝太郎

秋まき冬どりダイコンは、栽培期間中の天候不順の影響により生育が停滞し、計画的に出荷できないことが問題となっています。そこで、日平均気温等の気象データと根重に関する生育データを用いて、ダイコンの収穫時期を予測する技術の確立に取り組んでいます。今回は県内全域で作付けされている「冬自慢」の根重予測モデルを作成したので紹介します。



抽根後のダイコンの生育



抽根の前後での生育の違い

発表9 成果発表

北総台地に適する春夏どりニンジンの優良品種の選定 (第68回千葉県野菜品種審査会)

水稲・畑地園芸研究所 畑地利用研究室 高橋 紘輝

北総地域の春夏どりニンジンには、1月から2月に播種し、5月下旬から6月にかけて収穫されます。特に6月どりのニンジンには、収穫時期が梅雨にあたることで収穫の遅れが生じやすく、それにより抽台やしみ症が発生しやすい作型です。そこで、6月どりの作型を対象に「第68回千葉県野菜品種審査会」を開催し、収量及び外観品質が良好で、しみ症や抽台株の発生しにくい優良品種を選定しましたので紹介します。



1位の「THC809-L」



品種審査会における収穫物審査風景

発表10 成果発表

いも形状が優れるサツマイモ「べにはるか」ウイルスフリー新系統「S-3」の特性

水稲・畑地園芸研究所 畑地利用研究室 山下 雅大

サツマイモ「べにはるか」は、貯蔵すると甘みが強く、ねっとりとした食感が特徴の品種で、需要、作付ともに年々増加しています。最近、平成23年から産地に供給している「べにはるか」の配付系統「07-5」は細長いいもが多く発生することが問題となっていました。そこで、新たにいもが短いことで外観の優れる「S-3」を配付系統として選抜したのでその特性について紹介します。



「べにはるか」の新系統「S-3」



系統選抜に向けた現地検討会の様子

発表 11 成果発表

生育初期のかん水によるサツマイモ「ベニアズマ」の丸いも発生軽減技術

水稲・畑地園芸研究所 畑地利用研究室 山下 雅大

サツマイモ「ベニアズマ」は、ホクホクとした食感の品種で千葉県の主力品種のひとつです。平成 28 年にいもの長さが直径の 2.5 倍未満にあたる「丸いも」が多発し、その原因として気象条件の影響が疑われました。生育期間中のかん水方法といもの形状との関係を調査したところ、生育初期の土壌の乾燥が「丸いも」の発生を助長することが分かりました。さらに、「丸いも」の発生を軽減できるかん水時期について明らかとしましたので報告します



通常の「ベニアズマ」



丸いも多発条件の「ベニアズマ」

発表 12 情報提供

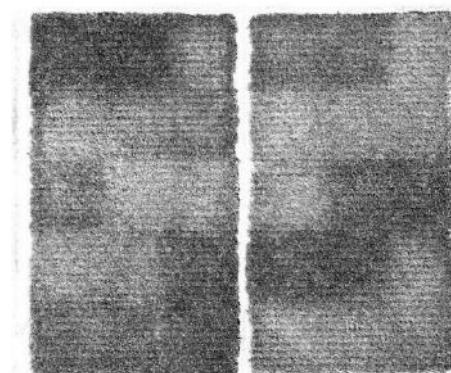
ドローンを用いたサツマイモの草勢評価 ～空撮画像から得られる情報～

最重点プロジェクト研究室 高野 幸成

ドローンを用いたサツマイモ試験の取り組み状況を紹介します。ドローンによる空撮画像の解析データから得られる情報の数々（植被率、草高、植生指数等）、その中からサツマイモの草勢評価に有効な指標について解説します。



ドローンによる空撮



空撮画像データによる草勢評価マップ